

# 令和5年第3回川崎市議会定例会

## 請願陳情文書表

(その1)

## 請 願 文 書 表

受理番号	受理年月日	件 名	請 願 提 出 者	紹 介 議 員	要 旨	付託委員会
1	5. 6. 1	成人ぜん息患者医療費助成条例、小児ぜん息患者医療費支給条例の廃止に反対し、維持・拡充を求める事に関する請願	川崎区 川崎公害病患者と家族の会会長ほか 9,629名	宗 田 裕 之	1 「成人ぜん息患者医療費助成条例」を維持・拡充し、医療費を無料にすること。 2 「小児ぜん息患者医療費支給条例」を維持すること。 3 「成人ぜん息患者医療費助成条例」適用患者が川崎北部地域で増え続けている原因を解明し、抜本的な対策を講じること。 4 「小児ぜん息患者医療費支給条例」適用患者が川崎北部地域で増え続けている原因を解明し、抜本的な対策を講じること。	文教委員会 (2, 4)  健康福祉 委員会 (1, 3)

受理番号	受理年月日	件名	請願提出者	紹介議員	要旨	付託委員会
2	5. 6. 6	教員不足の解消で子どもたちが安心して学べることを求める請願	多摩区在住者	渡辺 学 重富 達也	<p>行き届いた教育を実現するためには、必要な教員を配置し、教職員の働き方を改善することを求めます。</p> <p>子ども一人一人が尊重され、自分らしく成長していける場としての学校。教職員が自分の健康や家族を犠牲にすることなく、自らも成長できる場としての学校。そのような学校にしていくために、以下の事項を請願します。</p> <p>教職員の欠員を無くし、長時間労働を無くすこと。</p>	文教委員会

## 陳 情 文 書 表

受理番号	受理年月日	件 名	陳 情 提 出 者	要 旨	付託委員会
11	5. 5. 31	(仮称) ヤオコー川崎 上麻生店新築工事（以下「本事業計画」という。）で計画の中の上麻生62号線側車両出入口の運用方法及び、本事業計画地に接道する歩行者専用道路新百合ヶ丘2号線の安全管理に関する陳情	麻生区 62号線の未来と安全を守る会代表ほか 328名	<p>事業者が行う大規模小売店舗立地法の手続につき、本市が住民側の事情をよく理解し、責務を果たしてくださりますようお願いいたします。</p> <p>1 事業者が行う上麻生62号線側車両出入口の設置計画は、上麻生62号線の交通量の増加とこれに伴う渋滞及び騒音の発生、並びにスクールゾーン指定道路と横断歩道等を通行する住民の事故遭遇リスクの増加など、周辺住民の日常と交通安全に大きな影響を与えるものなので、運用方法の配慮を求めます。</p> <p>2 これまで上麻生3丁目周辺住民は、歩行者専用道路新百合ヶ丘2号線を交通法規にのっとり利用してきました。</p> <p>今後もこの状況を維持して安全な歩行者専用道路として利用していきたいので、事業者による自転車駐輪場及びオートバイ等駐車場の設置計画は、これらの車両等が歩行者専用道路を走行することなく駐輪場及び駐車場に到達できるよう、配置計画及び動線計画を行うよう配慮を求めます。</p>	総務委員会

受理番号	受理年月日	件名	陳情提出者	要旨	付託委員会
12	5. 6. 13	沖縄戦犠牲者の遺骨を含む土砂を埋立てに使用しないよう求める陳情	麻生区在住者 ほか 804名	<p>1 沖縄戦戦没者の遺骨に関し、下記の意見書を採択し、政府・国会に提出すること。</p> <p>(1) 太平洋戦争の犠牲者の遺骨等を含む土砂を埋立てに使用しない。</p> <p>(2) 住民を巻き込んだ苛烈な地上戦があった沖縄の歴史を踏まえ、日本政府が責任を持って遺骨収集を実施すること。</p> <p>2 同様の決議をまだ行っていない神奈川県及び県内各市町村の議会に、速やかにこの決議を行うよう働きかけること。</p>	総務委員会
13	5. 6. 13	適格請求書等保存方式（インボイス制度）の延期・見直しに関する陳情	麻生区在住者	<p>インボイス制度は、事業者間の取引慣行を壊し、免税点制度を実質的に廃止するものです。</p> <p>長年、デフレが続く我が国において、新型コロナウイルスは経済に更なる打撃を与え、その回復の見通しが立たない中、コストプッシュによる物価上昇も加わり、地域経済は一層疲弊しています。そうした状況下でのインボイス制度の延期・見直しに関して、国に意見書を提出することを求めるものです。</p>	総務委員会

受理番号	受理年月日	件名	陳情提出者	要旨	付託委員会
14	5. 6. 13	麻生区高石5丁目の当該樹林地（緑地番号7273）の保全に関する陳情	麻生区 高石5丁目の森を守る会 会長ほか 1,527名	麻生区高石5丁目の当該樹林地（緑地番号7273）を保全してください。 当該地は売りに出され、消滅の危機にさらされています。近隣住民及び広範囲の市民が、次世代に引き継ぐ財産として、この樹林地の保全を強く願っています。	まちづくり 委員会
15	5. 6. 14	「川崎市成人ぜん息患者医療費助成条例」及び「川崎市小児ぜん息患者医療費支給条例」の廃止に反対することに関する陳情	川崎区 川崎から公害をなくす会 会長	今も大気汚染と公害被害者が続出する中、本市の公害被害者救済制度の歴史を無視し、ぜん息等の呼吸器疾患をアレルギーマスクの観点からのみにより、また公害患者・住民の意見さえも真摯に耳を傾けないで、一方的に、標記2つの条例を廃止することは断じて認められない。これは全市民の生命に関わる問題であるので、以下の項目を陳情します。 1 川崎市成人ぜん息患者医療費助成条例の廃止に反対すること。 2 川崎市小児ぜん息患者医療費支給条例の廃止に反対すること。	文教委員会 (2) 健康福祉 委員会 (1)